

鳥取県埋蔵文化財センター 令和2年春の新刊

県内文化財の調査研究成果を紹介

鳥取県埋蔵文化財センター 調査研究紀要 11

文化財の専門職員が取り組んだ調査研究のうちから、興味深い報告や論考をピックアップ

- ・琴浦町の特別史跡斎尾廃寺跡で出土した蓮華文帯鴟尾と同タイプの播磨地域の鴟尾を比較検討することで、作った工人達や当時の畿内地域との関わりを推論した「斎尾廃寺の鴟尾について」
 - ・過去に発掘調査された古代道路跡の調査結果についての課題や古代の祭祀遺跡と道路跡の位置関係から、古代山陰道のルート変遷を大胆に推測した「鳥取県内の古代山陰道に関わる諸問題」
 - ・下坂本清合遺跡で多数出土した平安時代後期から鎌倉時代初頭の漆器。当時の貴重品の中でも漆を何層にも塗り重ねた上質漆器が含まれ、これらの科学分析結果を紹介する「下坂本清合遺跡出土の漆器の科学分析」
- など計6編の論考、報告を掲載。



54 ページ 販売価格 500 円 (税込み)

因幡武田氏の奮闘と鹿野城を再考

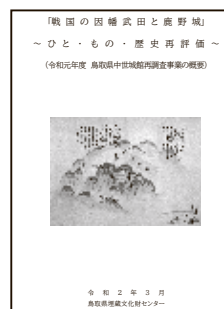
戦国の因幡武田と鹿野城 ~ひと・もの・歴史再評価~

(令和元年度鳥取県中世城館再調査事業の概要)

鳥取県埋蔵文化財センターで実施する中世城館再調査事業成果。

戦国期の「ひと」(武田高信)、「もの」(武田・鹿野関連城郭)、「歴史」(中世因幡の地域史)を再評価。

- ・戦国末期、地元生え抜きの武将(武田・南条)から武田高信の苦闘の10年
- ・地元因幡の武田高信関連、織田毛利戦争で境目となった鹿野関連の城郭
- ・文献、史資料、絵図、現地踏査等の調査研究から戦国因幡の歴史の一端



60 ページ 販売価格 300 円 (税込み)

籠城戦から戦国時代の転換をみる

令和元年度 考古学フォーラム記録集

好評だった令和元年9月開催のフォーラムを再現。

戦国期の因幡伯耆に大きな影響を与え、地元武将も関わった3つの籠城戦の真実とは？

- ・郡山城の籠城戦にみる毛利元就のウソ、尼子詮久の真のねらい
- ・富田城の籠城戦にみる毛利元就の失敗の教訓に学んだ計略
- ・鳥取城の籠城戦にみる南条・織田軍と吉川軍との対決の帰趨



66 ページ 販売価格 300 円 (税込み)



問い合わせ先：鳥取県埋蔵文化財センター

680-0151 鳥取市国府町宮下 1260

電話 0857-27-6711 ファクシミリ 0857-27-6712

URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>